

森林病虫害等防除事業

松くい虫発生予察事業（執行委任：環境森林部森林保全室）

辻井貴弘

2009年4月14日に三重郡菰野町田光、同月16日に志摩市大王町波切の山林から、マツノマダラカミキリの寄生木を採取し、林業研究所構内の網室に搬入した。採取林分の概況は表-1のとおりである。マツノマダラカミキリ幼虫の生育状況を把握するため、割材調査を成虫が脱出するまで、成虫の脱出消長調査を7月中旬まで実施した。その結果は表-2のとおりであった。

表-1. 採取林分の概況

場 所	標高 (m)	方 位	樹 種	林 齢 (年生)	成立本数 (本/ha)
三重郡菰野町田光	340	—	クロマツ	11	280
志摩市大王町波切	20	—	アカマツ	30	680

表-2. マツノマダラカミキリの発育状況と脱出状況

調査地	蛹化初認	50%蛹化	脱出初認	5%脱出	10%脱出	50%脱出	脱出終了日
菰野町	4/27	5/15	5/27	6/1	6/5	6/18	7/6
志摩市	5/15	5/20	6/2	6/8	6/9	6/22	7/15

脱出成虫数 菰野町：131頭、志摩市：131頭